



秋の収穫に感謝「豊祭(ほぜ)」

■10月28日に南方神社、29日に妙見神社で行われ、山下・水流太鼓踊り、東鹿籠太鼓踊り、山口棒踊りのほか、今回はじめて小湊に伝えられる笠踊りと四つ竹踊りが南方神社で奉納されました。(写真は山口棒踊り・妙見神社)



中秋の名月 各地で十五夜行事

■9月30日を中心に各地で行われ、十五夜唄や子どもたちのにぎやかな声が響きました。(写真は大塚公民館・10月1日)



風の芸術展支援チャリティー三遊亭歌之介独演会

■10月24日、市民会館で開催されました。約650人の観客は、歌之介師匠の鹿児島弁での落語を楽しみました。



枕崎市シルバー人材センターボランティア清掃

■10月はシルバー人材センター事業普及啓発促進月間でした。10月16日、片平山公園や市立図書館など市内4か所で開催によるボランティア清掃が行われました。



西之原実生さん 国体3位入賞(競泳) ～第67回国民体育大会(ぎふ清流国体)～

岐阜県で開催された第67回国民体育大会(ぎふ清流国体)競泳少年女子B50歳自由形で西之原実生さん(枕崎中3年)が26秒66の県中学新記録で3位入賞しました。10月10日に市役所を訪れ、神園市長に大会結果の報告をしました。

昨年初めて全国の舞台に立ったものの、力不足を感じたという西之原さん。それ以来、自宅での筋力トレーニングを毎日欠かさず行ってきました。

西之原さんは「タイムを見たときは自分でも驚きました。高校でも続けて、次は今回以上の結果を出したいです」と話してくれました。

受け継がれる伝統の舞

～田布川棒踊り

田布川棒踊りが10月21日、大山積神社で3年ぶりに奉納されました。田布川棒踊りは、天保(1830～1843年)の頃、薩摩藩を治めていた島津氏が若者の士気を鼓舞するために躍らせたと伝えられています。今回、青壮年に加え、小学1年生から高校生までの16人も約1か月の稽古を積んで参加しました。

また、当日は田布川集落の一大イベント「秋祭り」があり、集落の人たちを前に堂々と披露しました。

はじめて参加した大園白葉里さん(金山小3年)は「お父さんから棒の打ち方を教わりました。上手く振れたら、棒と棒が当たるとき『カチッ』といい音がして、とても気持ちよかったです」と話してくれました。



関東枕崎会総会を盛大に開催

～投稿者：関東枕崎会

第59回関東枕崎会総会(望郷の集い)が10月14日、東京都港区で開催されました。郷里より市長をはじめ関係者の方々なども交え、総勢170人の参加者でにぎわいました。今回、東京枕崎会から関東枕崎会に改名してはじめての総会となりました。



▲橋口行則会長

会場では、郷里出身のデュオ「ナツメグ」や、「プラスガンマ」の歌や漫才も花を添えました。

枕崎よりお借りした大漁旗のはためく中、盛況に終わり、来年の再会を各自約束しあう会となりました。



今年もおいしい焼酎
できました
オリジナル焼酎「天地一杯」

9月22日に行われたイモ堀り

地元のPR活動に取り組む店舗などの有志でつくる「まちの駅南薩ブロック連絡協議会」のオリジナル焼酎「天地一杯」の仕込み作業が9月24日、薩摩酒造(株)明治蔵でありました。

原料となるサツマイモは、同会員が植え付けから収穫まで行ったものです。当日は会員7人が、米麹に水と酵母菌を加えて混ぜ合わせた1次もろみに、細かく砕いたサツマイモを入れて混ぜ合わせる2次仕込みの作業を行いました。

天地一杯は12月1日から市内のまちの駅加盟店で限定800本販売の予定です。お楽しみに。



秋晴れの下 溢れる笑顔と爽やかな汗 ～第44回市民運動会

市民運動会が10月21日、総合グラウンドで開催されました。当日は澄みわたる秋晴れの下、綱引き競争や公民館対抗リレーのほか、今回初めてとなるグラウンドゴルフなど様々なプログラムに多くの市民が参加し、爽やかな汗を流しました。



最後の慰霊祭「鹿籠隊」しのぶ ～招魂塚慰霊祭

財団法人招魂塚維持協会が主催する招魂塚慰霊祭が9月23日に行われました。明治10年の西南の役に西郷隆盛軍に従軍した南方郷(現枕崎市)の「鹿籠隊」その兵士430人のうち、123人が政府軍との激戦で亡くなり、当時生還した人たちにより明治13年、南方神社境内下に慰霊塔として建立されたのが招魂塚です。

慰霊祭は今回で132回目。会員の高齢化や公益法人制度改革による新法人への移行も困難であることから、今回が最後の開催となりました。

同会理事代理の瀬崎やいさんは「これまで先輩方が続いてきた慰霊祭が終わるのは残念ですが、これからは、それぞれの心の中で慰霊の日にお祈りしていただけました」と話していました。